

Franz Adolf Bernald (1796-1868)

フランツ・アドルフ・ベルワルド

多芸多才な苦勞人

宮廷オーケストラのヴァイオリン奏者やヴィオラ奏者を務めたり、音楽雑誌を創刊したり——。さまざま試みるも、なかなか音楽家として生計を立てることができず、副業としてはじめた整形外科やガラス工場経営が思いがけず大成功をおさめるという変わった経歴を持つベルワルド。亡くなる直前によく音楽院教授に就けた苦勞人でもあったが、むしろ音楽にとどまらないその多芸多才ぶりに驚嘆するばかりだ。

B

2024

OCTOBER

[第2019回]

X X X

兼業音楽家

演奏家「兼」作曲家はよくいるが、音楽「以外」の職業を兼業している作曲家となると、グッと数が少なくなる。農場経営をしていたヴェルディ、化学者であり医師でもあったボロディン、保険会社社長で実業家であったアイヴズ、といったところだろうか。音楽の才能だけでもすばら

しいのに、天は二物を与えることもあるのだ。

